



# 草の根通信 NEWSLETTER No.30 <2001.7.15>

ジョン万次郎ホイツフィールド記念

(財)国際草の根交流センター

## ようこそ、第11回サミット広島大会へ。開催準備進む。



会期;平成13年10月8日(月)～17日(水)

開会式	10月12日(金)
広島市分科会	10月12日(金)
地域分科会	
・ホームステイ	10月13日(土)～14日(日)
フェアウェルパーティ	10月15日(月)

詳細は <http://www.manjiro.or.jp/hiroshima/index.html>

### 広島大会運営の特徴 ; ボランティアによる企画・運営の実施 (静岡大会の発展形目指して)

第9回サミット静岡大会で確立されたボランティアの支援体制の定着・発展を課題として、広島大会でも企画・運営ボランティアが大会の成功を目指し活発な活動を実施しています。

#### <ボランティア説明会及びボランティア会議の開催>

3月28日(水)広島においてボランティア説明会が開催され90名が参加、70名が登録、40名が文書で参加申し込みをされました。その後月1～2会のペースでボランティア会議を開催し、サミット大会の準備に励んでいます。また今回のサミット大会の特徴である広島市分科会の準備も着々と熱気に溢れながら進んでいます。



#### ボランティア活動の特徴

ボランティア活動は大会までの企画やもてなしの準備(運営)の仕事、アメリカと広島の各地の分科会を結ぶ連絡、調整、相談の仕事、サミット当日の支援ボランティアの仕事、サミット大会後のオプションツアーや日本各地訪問の支援ボランティアの4つの仕事に大別されます。現在企画・運営ボランティア会議では、その部会として送迎、宿泊者対応、ガイド、開会式・フェアウェルパーティ、広島市分科会、地方分科会担当に各々別れて企画検討しています。

#### 各地のボランティア

京都の大学では学生ボランティアの活動が開始され、京都での対応だけではなく、大会までのアメリカと広島の分科会を結ぶ活動に向けて準備が進んでいます。このボランティア活動では、ボランティアを通じた人材の育成を目指すと共に、財団も実際のNPO活動事例を提供し、サミット大会への理解、ボランティア活動への参加を呼びかけるとともに、議論の場の提供に一役買っています。

 三菱商事株式会社

 Mitsubishi Corporation

## 地方分科会の取り組み（15地方分科会、3特別分科会からの紹介）

### <尾道市分科会> 高校生ブラスバンドの交流 ~音楽が結ぶアメリカと日本の若者~

尾道市内の3高校の吹奏楽の合同演奏会による交流と高校生同士のホームステイの2つの企画により、日米の若者によるブラスバンド交流を目指して準備が進んでいます。この企画は山形、静岡大会でそれぞれ横田、横須賀の基地の高校生を受け入れた交流の第3段で定着化を目指しています。



### <三次市分科会> 子ども合唱団による希望の歌 ~霧の町で古代遺跡を訪ねよう~

三次市内の小学校・中学校・高校生をコーラス交流で21世紀の無限の発展の可能性を追求しようとするもので、出会いとコーラスによる交流の成果が期待されています。来日するグループはユースオーケストラと合唱団が予定されており、派遣にあたってはオーディションも開催されるとのことであり、来日が楽しみです。



### <廿日市市分科会> 日本人のアメリカ移住の歴史 ~広島のアメリカ村~

廿日市市は国際交流ボランティアが100人以上常時活動されている国際交流に熱心なところであり、1979年からシカゴ日本人学校の生徒さんを受け入れ、小・中学校交流がなされています。1995年にHVICのボランティア組織が活動されています。今回は協力して日本語で日ごろの勉強の成果が期待されます。



## 広島大会へ向けた全国各地の協力進む

広島大会へ向けて過去にサミット大会を実施した地域や、参加された機関・団体の関係者の皆さんの協力が進んでいます。そのうちいくつかの取り組みをご紹介します。

### 在日アメリカ大使館のホームページにリンク

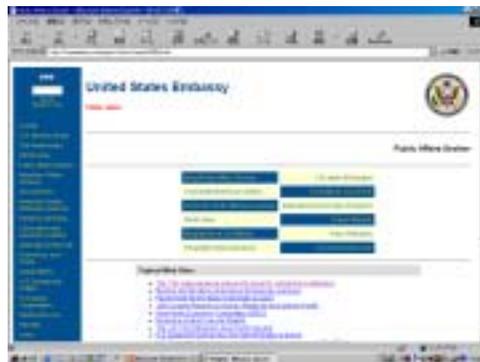
国際草の根交流センターのホームページを在日アメリカ大使館のホームページにリンクしていただきました。(リンクリスト赤色部分) 多くの在日アメリカ人の方々や大使館のホームページにアクセスする方々とのネットワークと交流の拡大、発展が期待されます。

### 各地の在日領事等の協力進む

第9回静岡大会に参加された米国国務省日本語研修所の方々研修を終えて各任地へ配属され、日米草の根交流の意義を家族単位で理解されています。各総領事館等を訪問して広島大会への協力をお願いに快く応じていただいています。

### 山形や静岡のサミット開催地の受け入れ準備が進む

山形県庄内地域の庄内観光コンベンション協会を中心に、静岡県地域でも着々とオブショナルツアーの受け入れ準備が進んでいます。



# 英語版 広島サミット大会ホームページ

*Webmaster Ms. Michele Grief*

今年1月に念願の英語版サミットホームページが誕生しました。厳島神社を背景に海中にそそり立つ大鳥居の写真で始まるこのHP、是非アクセスしてください。Webmasterのミシェル・グリーフさんはテキサス州ヒューストン在住のボランティア。コロラド・スプリングスのご出身で大学生のお子さんお二人に10歳のお嬢さんのいるSuper Ladyです。97年の山形サミット大会にご両親のマーレ夫妻とお嬢さんのジャックリンちゃんと参加しています。お父様のBob Murray氏は南コロラド日米協会の会計係を務めるなど家族揃って親日派。今年も親子三代で参加予定です。



写真左端がミシェル・グリーフさん

ホームページURLは

[www.manjiros Summit.org](http://www.manjiros Summit.org)

## 在米日系人向けラジオ局番組ジャック!

アメリカカリフォルニア州にある契約者向けラジオ放送局「RPJ」社で毎日曜日に東繁春キャスターにより放送される「さわやかサンデー」に財団専務理事の高橋徹専務理事、松田剛さん、広島県国際企画室企画員の猪原知司さんが出演。第11回広島サミット大会への参加を大々的に呼びかけました。(写真左) 写真右は羅府新報の取材を受ける高橋さん、猪原さん。羅府新報はロサンゼルスエリアのローカル紙です。

「さわやかサンデー」放送日(Live) 2001年6月3日(日) 11:20~11:40



左より高橋専務理事、松田さん、猪原さん、東キャスター



左より高橋専務理事、猪原さん、平野記者

# 日米草の根交流の視座 ～ 榎原理事に聞く ～

三菱商事(株)会長、日米財界人会議日本側議長等として日米交流で活躍され、草の根交流でも多大なご支援を頂いている当財団の榎原理事を訪問しました。  
<平成13年4月12日(木) 三菱商事(株)にて >



インタビューに答える榎原理事

## Q1.日米草の根交流について

Ans.日米関係の大切さだけではなく、日本人の国民性からも最も付き合いやすいのはアメリカ人です。今までは何か問題が起こったときや特定の分野での交流に集中されていて、急な問題が発生すると思わぬ方向へ物事が走ってしまうことがありました。それを防ぐためにも日米の接点を広げ、さらに交流を深めることが大切です。その意味でもこの草の根交流は様々な分野の人たちが、サポートを含めると毎回数千にもものぼる人たちが交流を重ねている、とても意義のある活動だと思っています。

## Q2.11年目を迎えている日米草の根交流の今後は、

Ans.10回のサミット大会と1万7千人の参加者の蓄積を大切に、あらゆる階層にまで交流の輪を拡げていく取り組みを強めて欲しいと思います。

## Q3.日本人は草の根交流にあたってある種の壁や恐れを持っていますが、...

Ans.言葉の壁はありますがブローケン英語でも良いので率直に思いを伝えることが大事です。日本を知ってもらうためにも、アメリカをより深く知るためにも、一歩踏み出す必要があります。ホームステイでもあれこれ考えすぎずに、どんどん受け入れることが大切です。アメリカ人も日本人家庭の中での体験を期待しているのです。



インタビューーは金井理事

## Q4.11年以後の草の根交流についての留意点は、

Ans.従来の活動・方針・内容は非常に的を得たものであり、これを変えたり、他の分野へ手を広げる必要はないと思います。これまでの活動をしっかりと続ける努力をする、そういうことではないでしょうか。そのための一つとして活動の実態を広く知ってもらうための効果的な広報展開を考えてみる必要があります。参加者のフォローアップと支援体制を強めていくこと、事務局や資金面の充実も必要でしょう。広報では、人に読ませる、見させる工夫も大切です。

## Q5.本年10月の広島大会に一言を。

Ans.交流の大きな機会であり、メディアの協力、著名な方々の参加をおおいで大会を盛り上げていくことが大事です。

インタビュー詳細はホームページへ掲載予定です。



## (財)国際草の根交流センターは

所得税法施行令第217条第1項第3号及び法人税法施行令第77条第1項第3号に掲げる  
**特定公益増進法人**です。

